

2021年7月15日

都道府県建築士会
会長 殿

SDGsに関する緊急アンケートのお願い

日本建築士会連合会 環境部会
部会長 中村勉

日頃から日本建築士会連合会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

SDGs（持続可能な開発目標）は2015年に国連から発せられ、「誰もとりのこさない」の精神で、地球環境と世界人類社会の調和を目指した世界的取組として進められています。日本でも各省庁での関連の取組、市民・NPOでの取組、企業・団体での取組等、各分野での特徴を生かしたSDGs方針とアクションが展開されています。

全国の建築士の皆さんは、日々、地域と密着し地域の素材と環境を重視した建築の設計建設、地域の木材を活用した住宅や風土適応型住宅の設計建設、地域住民目線での建築づくり、まちづくり活動を進めていると思います。それらの活動はSDGsにおける世界の人々の共通の運動とも深く関係していると思います。また、SDGsの一つ一つのゴールの達成は、個々の地域での地道な建設的活動の蓄積により可能だと思います。地域における社会・経済・環境の持続的な創造のための活動に貢献してきた建築士の皆さんの活動を、改めてSDGsの視点から評価し新たな活動への展開のきっかけとなれば良いと思います。

建築士会連合会の2019年度全国大会（北海道）での環境部会セッションでは「SDGsの環境まちづくりに向けて」を開催し、建築士におけるSDGsとまちづくりをテーマに討議し2020年度はpart2を予定していましたが、新型コロナ禍で中止となり改めて2021年度広島大会で、SDGsへの建築士の役割、建築士としてのSDGs活動方針の検討等を考える公開研究会を予定しています。

それに先立ち、都道府県建築士会におけるSDGsに関連するアクションについての緊急アンケートを実施することにいたしました。現段階で把握できる範囲で結構ですので、御回答頂ければ幸いです。皆様の回答は広島大会での環境部会セミナーで報告いたします。

★各問の回答は、貴建築士会で一つの回答となりますので、時間的制約はありますが、建築士会での情報収集をして頂き、建築士会長名での回答として頂ければ幸いです。

★回答の締め切りは、8月15日（日）とさせていただきます。ワードで回答いただき、メールに添付して下記に返送下さい。随時、行を追加してご記入下さい。

問7 今後、日本建築士会連合会としてのSDGsの活動方針を策定することについてはどう考えますか。

- 1)早急に策定すべきである。
- 2)もう少し検討した上で決める
- 3)策定する必要はない
- 4)わからない

その理由

問8 建築士はSDGsのどのゴールに貢献すべきと考えますか。(個人の建築士として御回答ください)

17ゴールの内、5つまで選んで○をつけ、貢献できると思われる内容を簡潔に記入してください。

ゴール NO	ゴール項目	建築士としての貢献できる内容(自由記入)
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任 つかう	

	責任	
13	気候変動に具体的な 対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべて の人に	
17	パートナーシップで 目標を達成しよう	

問9 その他、SDGs に関してのご意見を自由にお書き下さい。

■回答期限(締切)：8月15日(日)

返信先：(公社)日本建築士会連合会 事業部

jigy01@kenchikushikai.or.jp